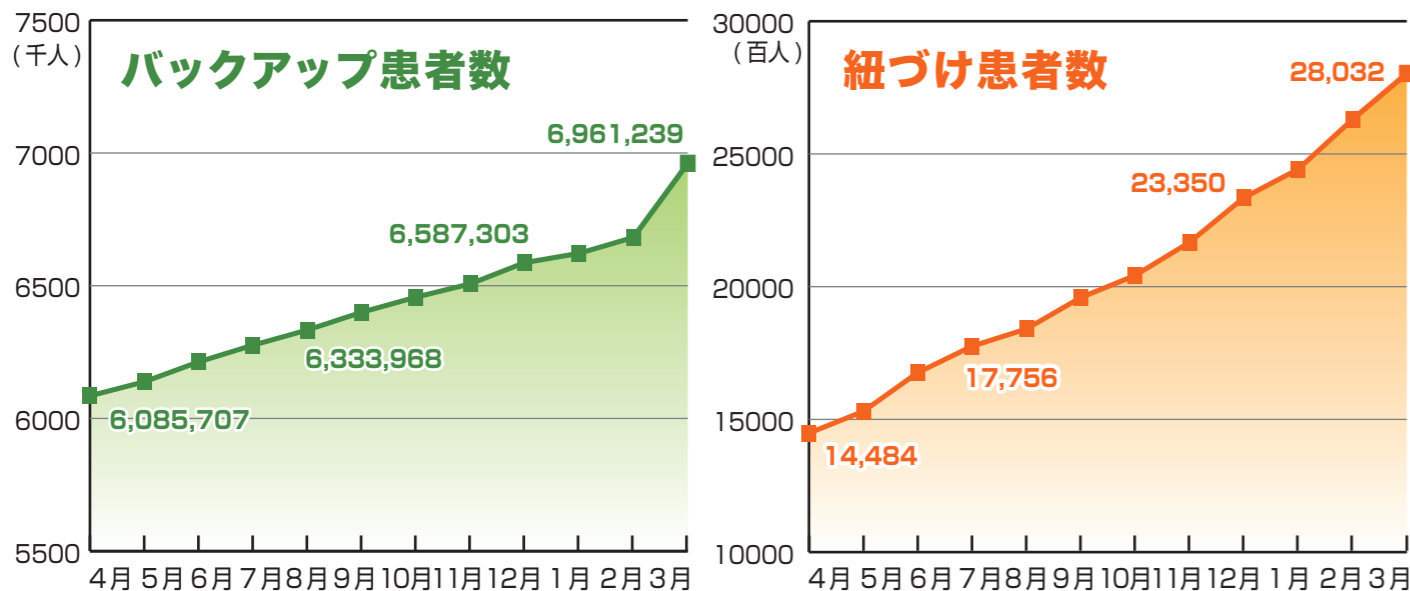


## データ推移

順調に患者数が増えております。バックアップ患者数は前月比+278,779人、紐付け患者数は、前月比+1,732人となりました。今後ともよろしくお願いいたします。



## 皆さまへお願い

以前よりお知らせしておりますが、MMWIN 通信を郵送の他に、各施設の MMWIN 使用者に直接メールで送付しております。また、ユーザーズミーティング開催のお知らせ等も送付致しますので、貴施設の MMWIN 端末使用者の方のメールアドレスを何件でも構いませんので、可能な範囲でお知らせください。

『koho@mmwin.or.jp』まで、施設名と可能であれば担当者様名をご記入の上、ご登録をお願い致します。右記の QR コードより、メールを送付いただくことも可能です。既にご連絡くださった施設様のアドレスは登録しておりますので、直接配信を開始しております。ご登録、誠にありがとうございました。

合わせて、ホームページにて、MMWIN 通信や、宮城県医師会報掲載ページのバックナンバーを公開しております。是非、ご覧ください。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6 階 URL: http://mmwin.or.jp  
 サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp  
 事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。  
 『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。  
 ※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



東松島市 やもと内科クリニック様にて

## MMWINを使用した 災害時診療訓練が行われました

2017.3.15 (木)



3月15日(木)、東松島市のやもと内科クリニック様にて、東日本大震災への対応を教訓とした MMWIN にバックアップ保管している患者データを使った災害時診療訓練が行われました。

MMWIN 参加施設の中でも初となる災害訓練となり、MMWIN の災害時バックアップサービスを活用し、過去一ヶ月の通院した患者データを元に、被災のため停電し通信が不通となり、電子カルテを起動できなくても、来院される患者さんへのスムーズな診療ができるよう初動訓練を行うものです。

当日は外にテントを設置し、仙台市内の MMWIN データセンターにバックアップしてある当院患者データが搭載されたノート PC を MMWIN 職員が当院へ持参する初動対応の訓練が行われました。

その他、震災時の初動対応の訓練や、停電や通信障害により電話(携帯電話)やメール(携帯メール)が繋がらない状態での臨時診療の対応能力を確認する訓練などが行われました。

訓練後に、佐藤和生院長にお話を伺いました。『今日の訓練を踏まえて、天候への対応や、テント内の導線等、ブラッシュアップして今後に向けて備えたい。端末さえあれば必要な情報は閲覧できるので、検索情報等、覚えておくべきものを手順書に落としに行きたい。最低限のことは出来たので、以前の災害時よりは貢献できると実感した』とのこと。MMWIN 側でも災害時の対応について、協議を進めております。

当日は TBC 東北放送や仙台放送、河北新報、石巻かほくなどが取材に訪れ、随時メディアでもご紹介される予定です。



2017.3.21 (火)



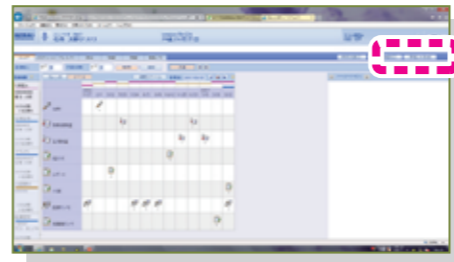
## MMWIN 事務局でもインタビューが行われました

やもと内科クリニック様での災害訓練を受け、仙台放送にて特集が組まれることになりました。MMWIN 事務局でもインタビューが行われ、4月以降の『みんなのニュース』内で放送が予定されております。

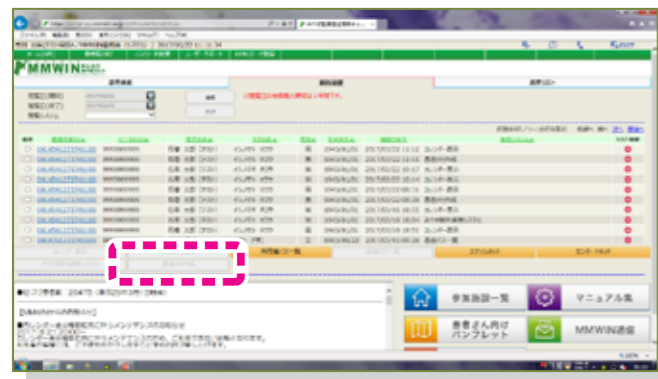
### 患者メモ作成が、より簡単・便利になりました

3月22日(水)より、患者メモ作成機能がポータル画面から呼出しできるよう、メニューのボタンに追加されました。従来は患者さんを選択し、カレンダー表示にした後、画面右上の患者メモ作成ボタンをクリックする形でしたが、トップ画面上で患者さんを選択すると患者メモ作成ボタンがクリックできるようになります。

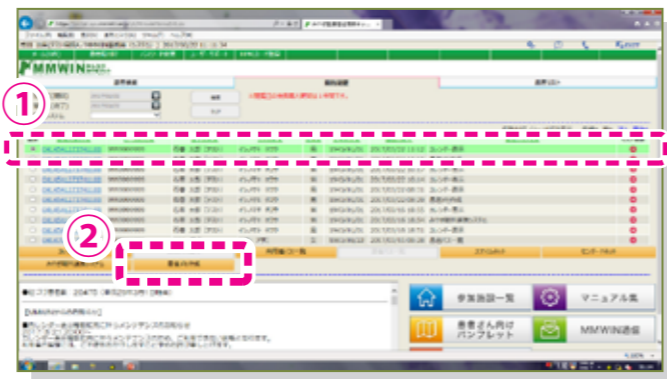
また、患者メモに添付できるファイル容量も30MBまで拡大いたしました。より簡単・便利になった機能を是非ご活用ください。



従来だと患者メモを作成するにはカレンダー表示が必須



患者検索や、閲覧履歴から患者を検索した状態では、患者メモ作成ボタンは選択不可



患者を選択すると、選択患者の患者メモをクリックひとつで作成可能になります

### 第4回 仙台地区 MMWIN ユーザーズミーティングを開催しました

2月24日(金)に、「第4回仙台地区 MMWIN ユーザーズミーティング」「第18回 スマイルネットユーザーズミーティング」兼「第22回 宮城県脳卒中地域連携パス研究会」を宮城県医師会館5F「会議室1」にて開催いたしました。MMWINの近況報告と、新しくなったポータル画面の紹介、各参加者から質疑、近況、ご意見等をお伺いしました。

新しいポータル画面を使用して、使いやすくなったというご感想や、施設のひも付けを進めて行きたい等、前向きなご意見を多数頂くことができました。多数の皆さまのご参加、ありがとうございました。



### 県南地域医療連携講演会を開催しました

3月9日(木)に、みやぎ県南中核病院2階講堂にて、県南地域医療連携講演会を開催いたしました。東北公済病院薬局長中村浩規先生より『MMWIN 薬剤関連機能と他地域の利用状況』、コスモ薬局薬剤師阿部孝俊先生より『MMWINの活用例紹介 服薬指導と他職種連携の一例』、やもと内科クリニック院長 佐藤和生先生より『MMWINの活用例紹介 薬の重複投与のチェック、同系統薬や抗凝固剤のチェックなど』をご講演いただきました。出席者は医師8名、薬剤師27名、調剤薬局薬剤師24名、その他(事務職等)5名の合計40名となりました。多数のご参加、まことにありがとうございました。

### 仙台市 ひかり薬局 大学病院前調剤センター様

仙台市青葉区にある『ひかり薬局大学病院前調剤センター』の薬剤師・星様にお話を伺いました。東北大学病院を受診された患者さんを中心に、服薬指導前の主病名、アレルギーおよび検査内容・検査値の把握にMMWINをご活用いただいております。

ひかり薬局様では、MMWINカードを提示された患者さんを実際にひも付けるため、フローチャートの作成や社内掲示板等によるスタッフへの周知を行い、その結果、スタッフ全員がスムーズにひも付け作業を実施できる体制を整えておられます。一方、来局される患者さんが非常に多い当局様において、ひも付け作業時間を服薬指導前に確保することは難しく、MMWINの利活用の妨げとなっていました。

そこで、ひかり薬局様にご協力いただき、MMWINでは加入案内のため東北大学病院に常駐するスタッフが事前にひも付け作業を行う取り組みを2月より試験的に開始いたしました。カードには既にひかり薬局様とのひも付けが完了している目印としてシールを貼付しました。



ひかり薬局 大学病院前



患者さんからのカード提示後、すぐにデータを確認出来る本取り組みにメリットを感じていただいております。服薬指導前のMMWIN活用についてスタッフの皆さまへお声がけいただいております。検査内容や検査値の経過を踏まえた患者さんへの適切なアドバイスは、患者さんとの信頼関係構築にも役立つとのことです。



薬剤師 星様

2016年4月よりスタートした『かかりつけ薬剤師』制度により、患者さんの情報をよりきめ細かく、そして経過も含めて把握することの必要性を感じておられました。最近では処方せんに検査値が記載されることが増えてはいるものの、検査値1回分の情報だけでは十分とは言えません。このようなことから患者情報を時系列で確認できる MMWIN の活用は服薬指導等に効果的とのことでした。実際、服用意義に疑問を感じていた患者さんに対して検査値推移を確認してアドバイスすることで服薬意義を理解してもらえたという事例もあるそうです。また、不定期で行っている管理栄養士の栄養指導結果の経過確認にもMMWINを活用いただいているそうです。



今後は、時間がない患者さんのご負担にならないよう、更にスピーディーに情報を閲覧できる環境作りや、大学病院前が全店のモデルケースとなるように、使い慣れた方が声を上げ、活用方法やキャンペーンを計画されているそうです。また、トレーシングレポートへのMMWIN活用など、医薬連携、薬業連携においても活用できないか、検討されています。

お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。